

**TOYO TIRES**

**2024年度通期  
決算説明資料**

2025年2月14日

**TOYO TIRE 株式会社**

**80<sup>th</sup>**  
ANNIVERSARY

**1. 2024年度 通期実績**

2. 2025年度 通期業績予想

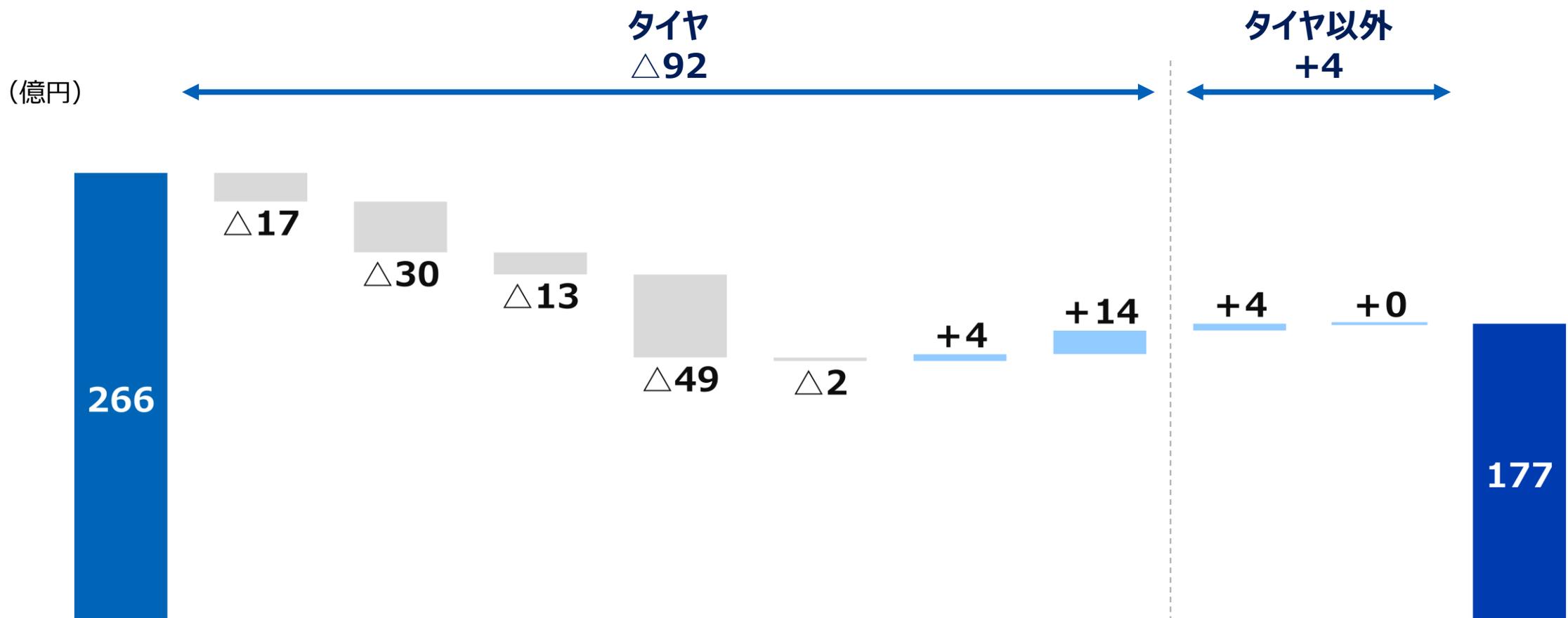
3. 経営施策 進捗状況

- 売上高は**過去最高となる5,654億円**を計上
- 重点商品の販売促進、為替（151円/米ドル）など外部環境の追い風により、営業利益は**940億円**、経常利益は**1,021億円**、当期純利益は**748億円**といずれも**過去最高を記録**
- 2025年度の業績予想（為替前提：146円/米ドル）
  - ・ 営業利益 **850億円**
  - ・ 当期純利益 **500億円**
- 一株当たり配当金 2024年度 **年間120円**（従来予想：年間110円）  
2025年度 **年間125円と増配予想**

(百万円)	2024年度 1-12月実績	2023年度 1-12月実績	対前年度 増減額	対前年度 増減率	2024年度 1-12月予想	対予想 増減額	2024年度 10-12月実績	対前年度 増減額
売上高	565,358	552,825	+12,532	+2.3%	560,000	+5,358	144,749	+1,145
営業利益	93,981	76,899	+17,082	+22.2%	86,000	+7,981	17,743	△8,831
営業利益率	16.6%	13.9%	—	—	15.4%	—	12.3%	—
経常利益	102,117	86,047	+16,069	+18.7%	82,000	+20,117	24,309	+2,751
当期純利益	74,810	72,273	+2,536	+3.5%	60,000	+14,810	19,613	+4,108

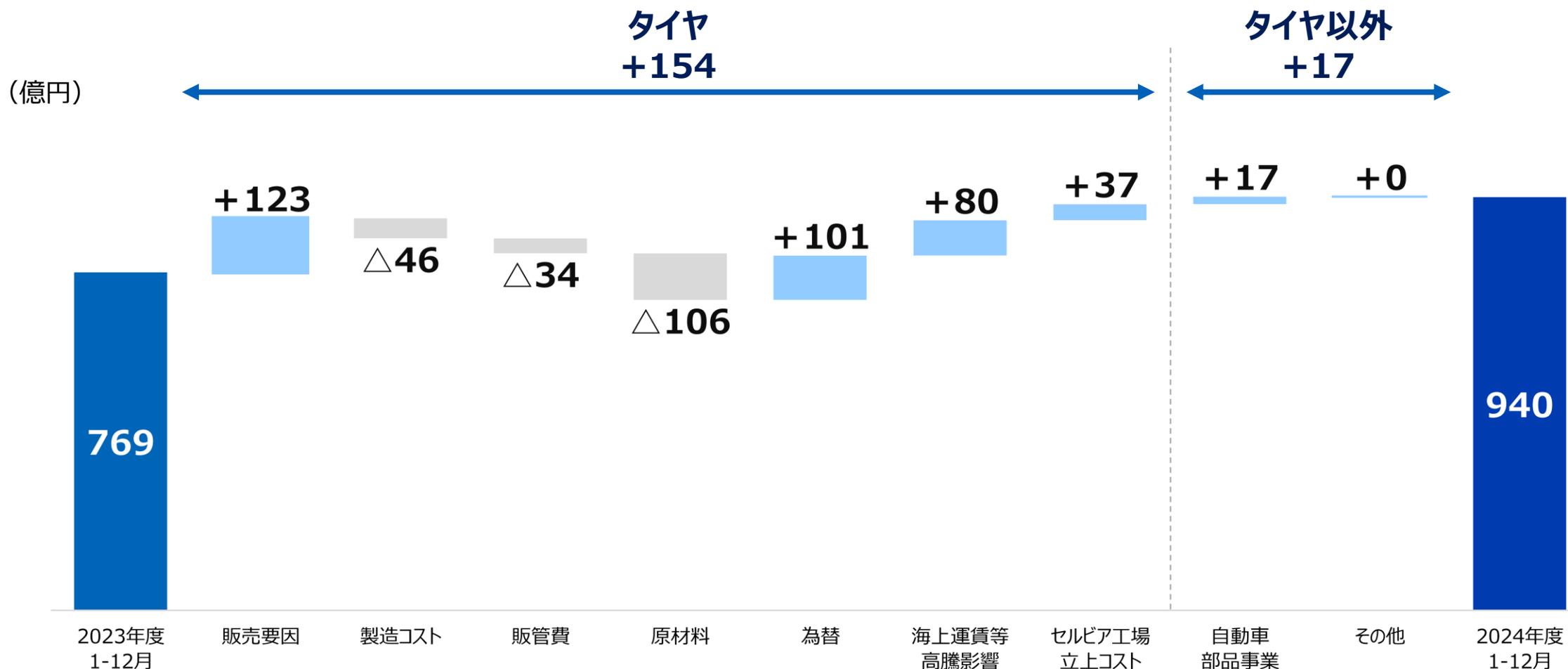
※当期純利益：親会社株主に帰属する当期純利益

1株当たり 年間配当金	120円	100円	+20円
米ドル	151円	141円	+10円
ユーロ	164円	152円	+12円



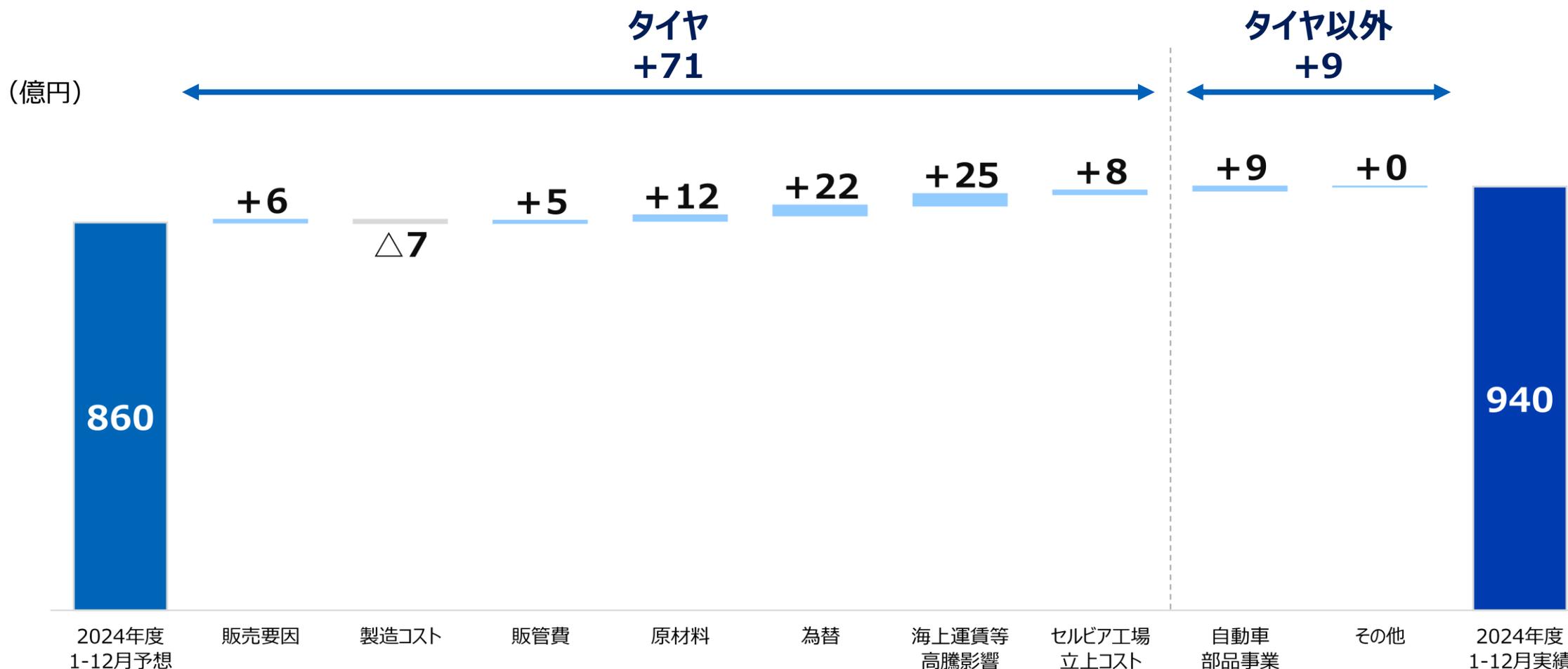
	販売要因	製造コスト	販管費	原材料	為替	海上運賃等高騰影響	セルビア工場立上コスト	自動車部品事業	その他	合計
2023年度 10-12月										266
1-3月実績	+2	+8	△11	+1	+39	+59	+12	+4	+0	+114
4-6月実績	+51	△7	△12	△9	+46	+11	+6	+10	+0	+95
7-9月実績	+88	△17	+1	△50	+18	+6	+5	△1	+0	+50
2024年度 10-12月										177

# 2024年度通期 営業利益増減要因（前年度比）



	販売要因	製造コスト	販管費	原材料	為替	海上運賃 高騰影響	セルビア工場 立上コスト	自動車 部品事業	その他	合計
1-9月実績	+140	△16	△22	△58	+103	+76	+23	+13	+0	+259
10-12月実績	△17	△30	△13	△49	△2	+4	+14	+4	+0	△88

# 2024年度通期 営業利益増減要因 (第3四半期時点予想比)



	販売要因	製造コスト	販管費	原材料	為替	海上運賃 高騰影響	セルビア工場 立上コスト	自動車 部品事業	その他	合計
10-12月予想	△24	△23	△17	△61	△23	△20	+6	△5	△0	△168
10-12月実績	△17	△30	△13	△49	△2	+4	+14	+4	+0	△88

(百万円)								
売上高	2024年度 1-12月実績	2023年度 1-12月実績	対前年度 増減額	対前年度 増減率	2024年度 1-12月予想	対予想 増減額	2024年度 10-12月実績	対前年度 増減額
タイヤ	519,832	505,438	+14,393	+2.8%	515,000	+4,832	132,685	+1,410
自動車部品	45,526	47,374	△1,848	△3.9%	45,000	+526	12,064	△264
その他	0	25	△24	-	0	+0	0	△0
調整額	0	△13	+12	-	0	+0	0	+0
合計	565,358	552,825	+12,532	+2.3%	560,000	+5,358	144,749	+1,145

※売上高には、セグメント間の内部売上高または振替高を含む。

営業利益	2024年度 1-12月実績	2023年度 1-12月実績	対前年度 増減額	対前年度 増減率	2024年度 1-12月予想	対予想 増減額	2024年度 10-12月実績	対前年度 増減額
タイヤ	92,089	76,725	+15,364	+20.0%	85,000	+7,089	17,208	△9,238
営業利益率	17.7%	15.2%	-	-	16.5%	-	13.0%	-
自動車部品	1,880	178	+1,701	+954.6%	1,000	+880	536	+405
営業利益率	4.1%	0.4%	-	-	2.2%	-	4.4%	-
その他	10	△4	+15	-	0	+10	△1	+3
調整額	0	△0	+0	-	0	+0	0	+0
合計	93,981	76,899	+17,082	+22.2%	86,000	+7,981	17,743	△8,831

※セグメント利益の調整額は、セグメント間取引の消去額等を含む。

# 2024年度通期 所在地別セグメント情報

(百万円)

売上高	2024年度 1-12月実績	2023年度 1-12月実績	対前年度 増減額	対前年度 増減率	2024年度 1-12月予想	対予想 増減額	2024年度 10-12月実績	対前年度 増減額
日本	116,911	122,206	△5,295	△4.3%	117,700	△789	37,591	△159
北米	373,099	357,801	+15,297	+4.3%	371,600	+1,499	87,431	△731
その他	75,348	72,817	+2,530	+3.5%	70,700	+4,648	19,727	+2,037
消去または全社	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	565,358	552,825	+12,532	+2.3%	560,000	+5,358	144,749	+1,145

※売上高には、セグメント間の内部売上高または振替高を含まず。

営業利益	2024年度 1-12月実績	2023年度 1-12月実績	対前年度 増減額	対前年度 増減率	2024年度 1-12月予想	対予想 増減額	2024年度 10-12月実績	対前年度 増減額
日本	60,462	67,047	△6,585	△9.8%	54,500	+5,962	10,420	△12,779
北米	21,891	17,589	+4,302	+24.5%	20,600	+1,291	5,322	+2,577
その他	8,355	3,323	+5,031	+151.4%	6,100	+2,255	2,937	+2,621
消去または全社	3,271	△11,061	+14,332	—	4,800	△1,529	△937	△1,251
合計	93,981	76,899	+17,082	+22.2%	86,000	+7,981	17,743	△8,831

1. 2024年度 通期実績
- 2. 2025年度 通期業績予想**
3. 経営施策 進捗状況

(百万円)	2025年度 1-12月予想	2024年度 1-12月実績	対前年度 増減額	対前年度 増減率	2025年度 1-6月予想	対前年度 増減額	2025年度 7-12月予想	対前年度 増減額
売上高	585,000	565,358	+19,641	+3.5%	277,000	+3,498	308,000	+16,143
営業利益	85,000	93,981	△8,981	△9.6%	38,000	△9,569	47,000	+588
営業利益率	14.5%	16.6%	-	-	13.7%	-	15.3%	-
経常利益	75,000	102,117	△27,117	△26.6%	30,000	△29,770	45,000	+2,652
当期純利益	50,000	74,810	△24,810	△33.2%	21,000	△21,005	29,000	△3,805

※当期純利益：親会社株主に帰属する当期純利益

1株当たり 年間配当金	125円	120円	+5円
米ドル	146円	151円	△5円
ユーロ	156円	164円	△8円

## 中計'21 重要経営指標

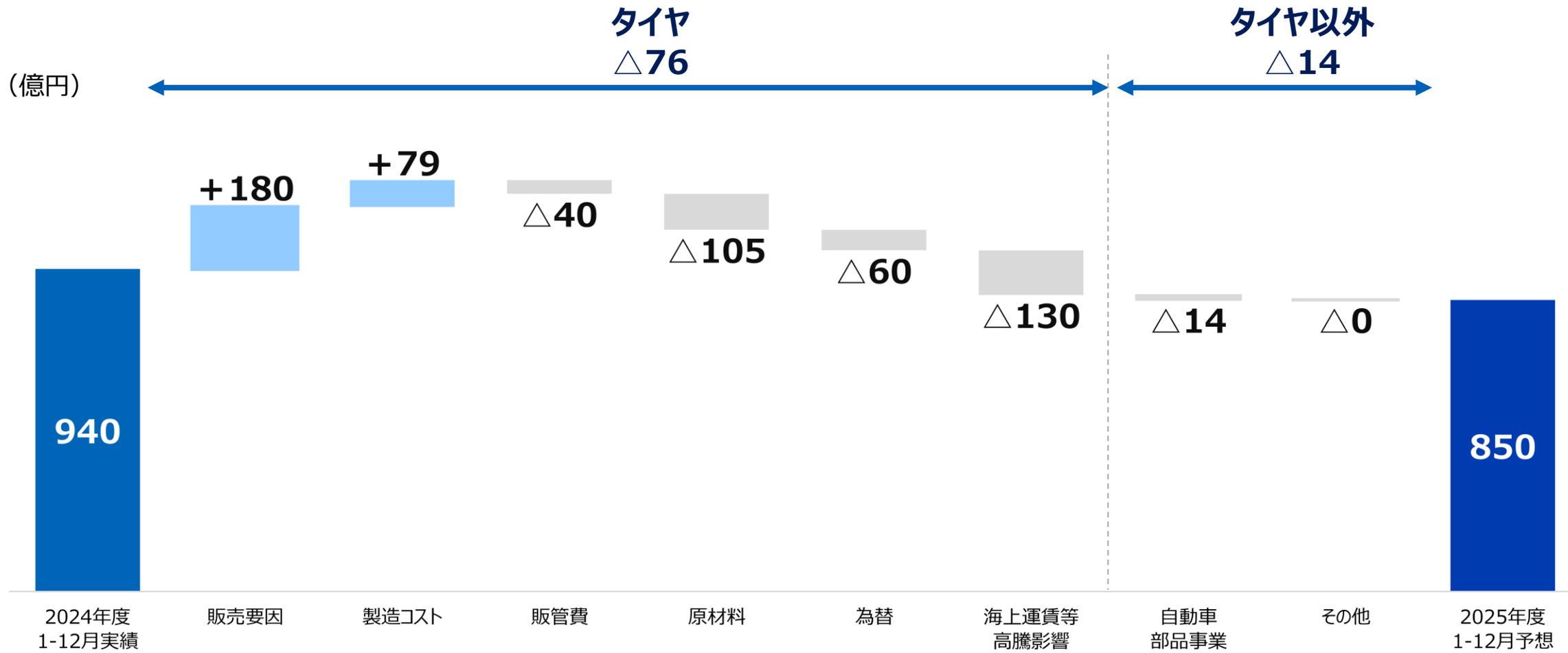
連結営業利益率 **14%超**

配当性向 **30%以上**

2025年度通期 為替感応度

米ドル	8億円/年
ユーロ	1億円/年

営業利益ベースで1円の変動につき



	販売要因	製造コスト	販管費	原材料	為替	海上運賃等高騰影響	自動車部品事業	その他	合計
1-6月予想	+78	+23	$\Delta 29$	$\Delta 78$	$\Delta 27$	$\Delta 60$	$\Delta 4$	$\Delta 0$	$\Delta 96$
7-12月予想	+102	+55	$\Delta 11$	$\Delta 27$	$\Delta 33$	$\Delta 70$	$\Delta 10$	$\Delta 0$	+6

(百万円) 売上高	2025年度 1-12月予想	2024年度 1-12月実績	対前年度 増減額	対前年度 増減率	2025年度 1-6月予想	対前年度 増減額	2025年度 7-12月予想	対前年度 増減額
タイヤ	541,000	519,832	+21,167	+4.1%	255,000	+3,708	286,000	+17,459
自動車部品	44,000	45,526	△1,526	△3.4%	22,000	△209	22,000	△1,316
その他	0	0	△0	-	0	+0	0	△0
調整額	0	0	+0	-	0	+0	0	+0
合計	585,000	565,358	+19,641	+3.5%	277,000	+3,498	308,000	+16,143

※売上高には、セグメント間の内部売上高または振替高を含む。

営業利益	2025年度 1-12月予想	2024年度 1-12月実績	対前年度 増減額	対前年度 増減率	2025年度 1-6月予想	対前年度 増減額	2025年度 7-12月予想	対前年度 増減額
タイヤ	84,500	92,089	△7,589	△8.2%	37,700	△9,198	46,800	+1,609
営業利益率	15.6%	17.7%	-	-	14.8%	-	16.4%	-
自動車部品	500	1,880	△1,380	△73.4%	300	△360	200	△1,019
営業利益率	1.1%	4.1%	-	-	1.4%	-	0.9%	-
その他	0	10	△10	-	0	△10	0	△0
調整額	0	0	△0	-	0	+0	0	△0
合計	85,000	93,981	△8,981	△9.6%	38,000	△9,569	47,000	+588

※セグメント利益の調整額は、セグメント間取引の消去額等を含む。

(百万円)

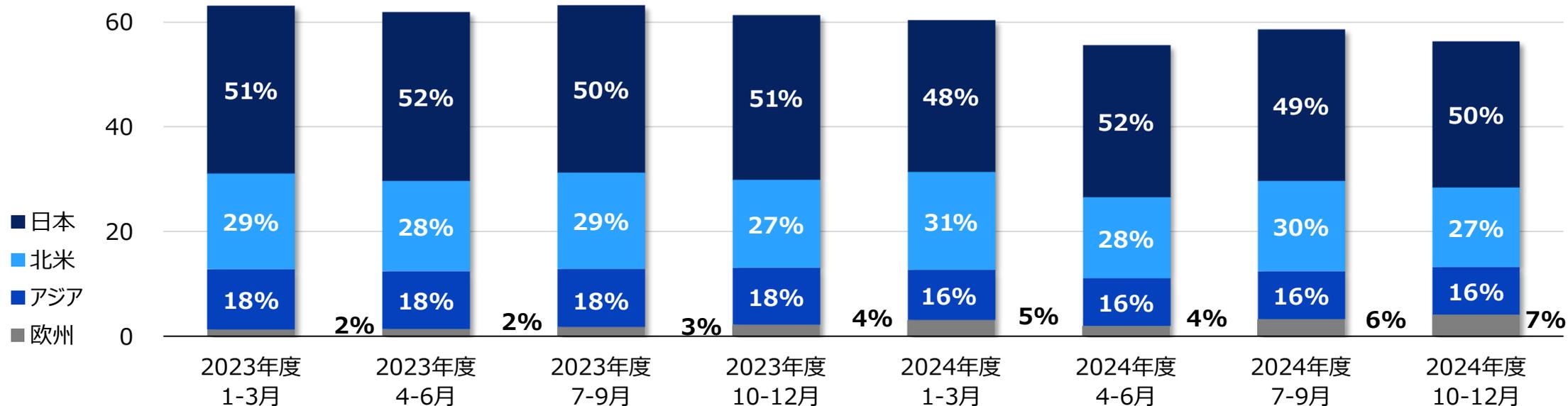
売上高	2025年度				2025年度			
	1-12月予想	2024年度 1-12月実績	対前年度 増減額	対前年度 増減率	1-6月予想	対前年度 増減額	7-12月予想	対前年度 増減額
日本	133,400	116,911	+16,488	+14.1%	61,600	+9,854	71,800	+6,634
北米	384,900	373,099	+11,800	+3.2%	182,400	△3,375	202,500	+15,175
その他	66,700	75,348	△8,648	△11.5%	33,000	△2,980	33,700	△5,667
消去または全社	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	585,000	565,358	+19,641	+3.5%	277,700	+3,498	308,000	+16,143

※売上高には、セグメント間の内部売上高または振替高を含まず。

営業利益	2025年度				2025年度			
	1-12月予想	2024年度 1-12月実績	対前年度 増減額	対前年度 増減率	1-6月予想	対前年度 増減額	7-12月予想	対前年度 増減額
日本	53,600	60,462	△6,862	△11.3%	26,200	△9,408	27,400	+2,545
北米	20,200	21,891	△1,691	△7.7%	7,900	△621	12,300	△1,070
その他	11,800	8,355	+3,444	+41.2%	5,800	+2,342	6,000	+1,102
消去または全社	△600	3,271	△3,871	—	△1,900	△1,882	1,300	△1,988
合計	85,000	93,981	△8,981	△9.6%	38,000	△9,569	47,000	+588

## 地域別生産量構成比

(千トン)

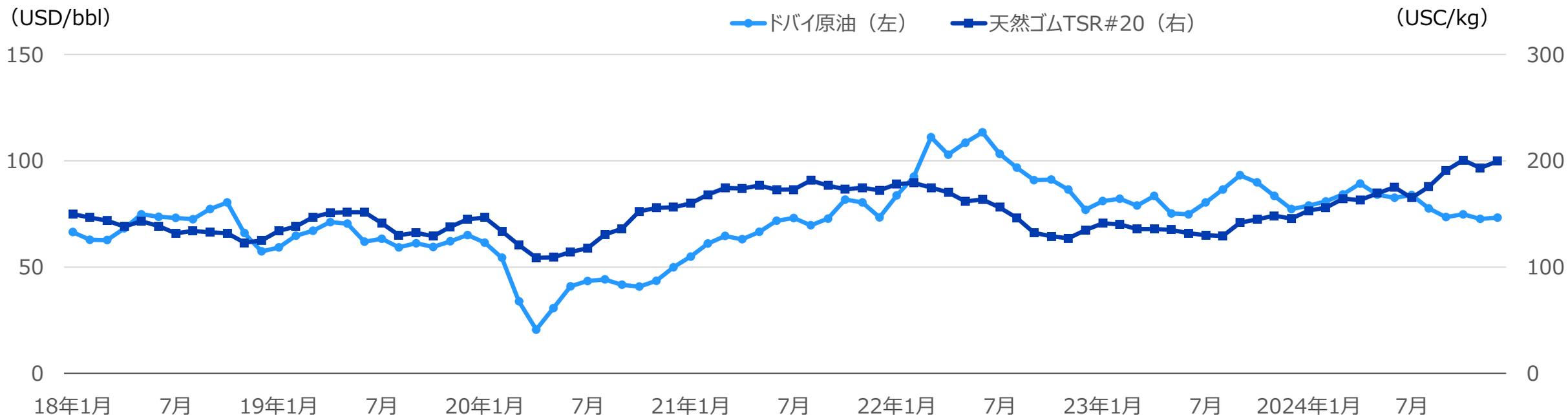


	2023年度					2024年度					2025年度 1-12月計画
	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-12月	
日本	32.0	32.2	31.9	31.4	127.5	28.9	29.0	28.9	27.9	114.8	122.9
北米	18.3	17.3	18.4	16.8	70.8	18.7	15.5	17.3	15.2	66.8	71.6
アジア	11.5	11.0	11.1	10.9	44.5	9.6	9.1	9.1	9.1	36.9	35.3
欧州	1.3	1.4	1.8	2.2	6.8	3.1	2.0	3.3	4.1	12.5	16.0
<b>合計</b>	63.1	62.0	63.2	61.3	249.6	60.4	55.6	58.6	56.3	230.9	245.7
前年比率	102%	100%	101%	100%	101%	96%	90%	93%	92%	93%	106%

※前年同期間を100とした場合の前年比率 (%)

	2023年度					2024年度					2025年度 1-12月 計画
	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-12月	
国内外新車	120	122	108	108	114	87	97	89	90	91	108
国内市販	104	102	79	81	90	77	85	85	88	84	115
海外市販	107	100	103	93	101	88	99	93	101	95	102
北米	110	104	112	96	105	93	100	99	98	98	106
欧州	103	96	94	80	94	71	85	69	106	80	75
東南アジア	106	86	92	99	95	92	101	98	113	100	104
合計	108	103	99	93	101	86	97	91	96	92	105

## ドバイ原油・天然ゴムTSR#20価格推移 (SICOM)



## 価格変動影響額 (営業利益ベース)

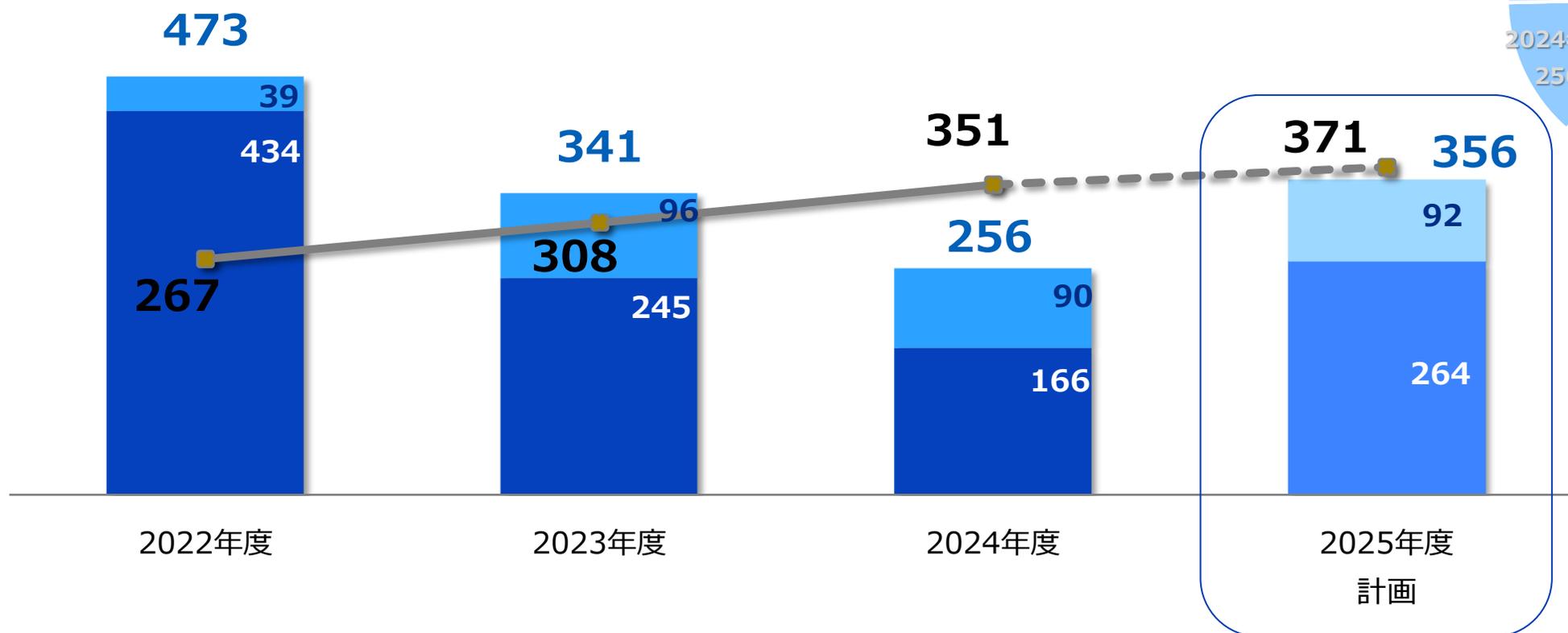
(億円)	2023年度					2024年度					2025年度 1-12月予想
	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-12月	
天然ゴム	+9	+20	+10	+5	+44	△6	△7	△18	△28	△58	△74
石化品	△30	△22	+22	+8	△22	+8	△3	△29	△17	△41	△20
その他原材料	△7	0	+4	+7	+5	△2	+1	△3	△3	△7	△11
<b>合計</b>	<b>△28</b>	<b>△2</b>	<b>+36</b>	<b>+20</b>	<b>+26</b>	<b>+1</b>	<b>△9</b>	<b>△50</b>	<b>△49</b>	<b>△106</b>	<b>△105</b>

## 設備投資と減価償却費

注) 設備投資には使用权資産に関するものは含みません。減価償却費には使用权資産に掛かる部分を含みます。

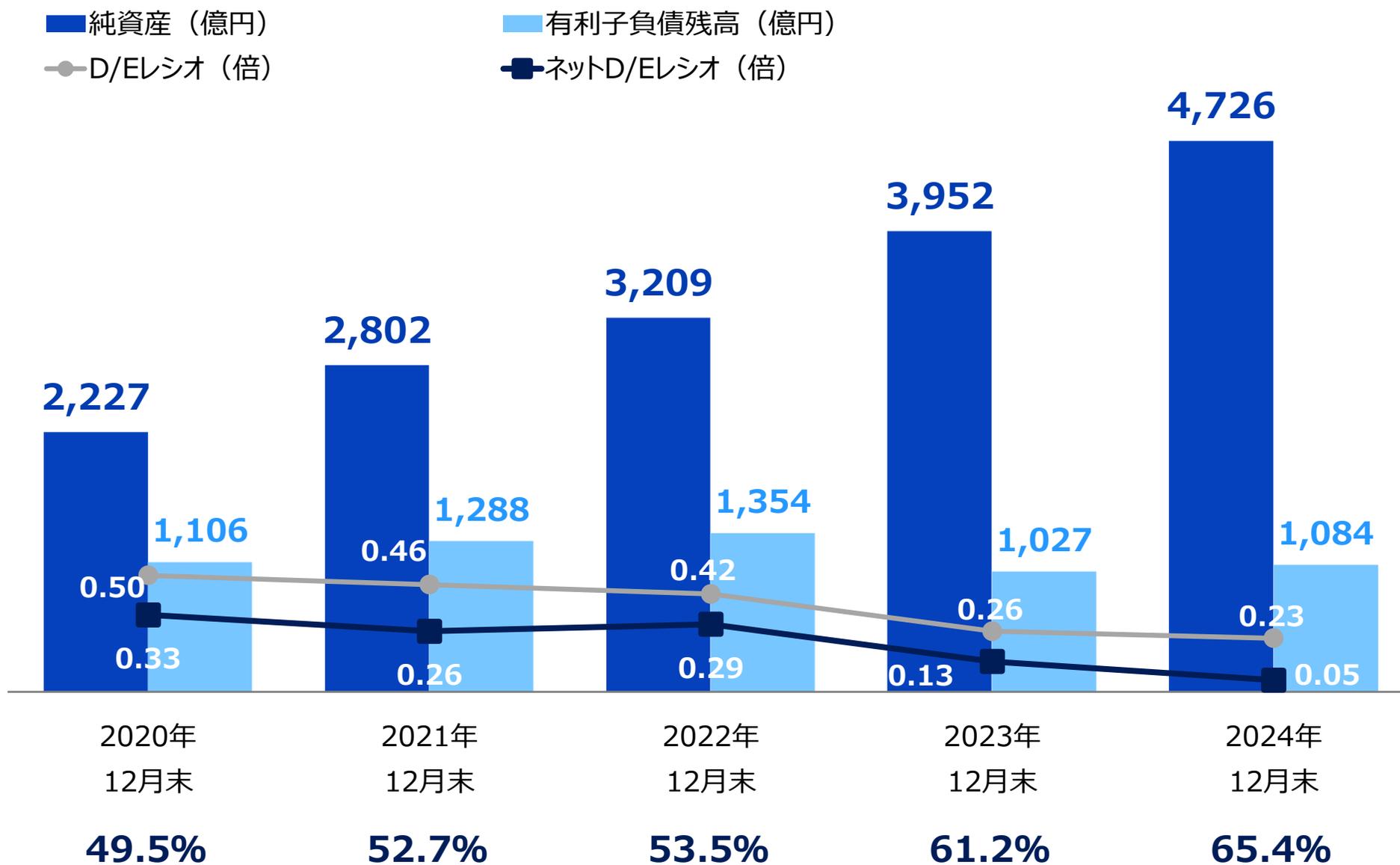
(億円)

■ 設備投資 タイヤ ■ 設備投資 その他 ● 減価償却費



中計'21期間中の設備投資の状況



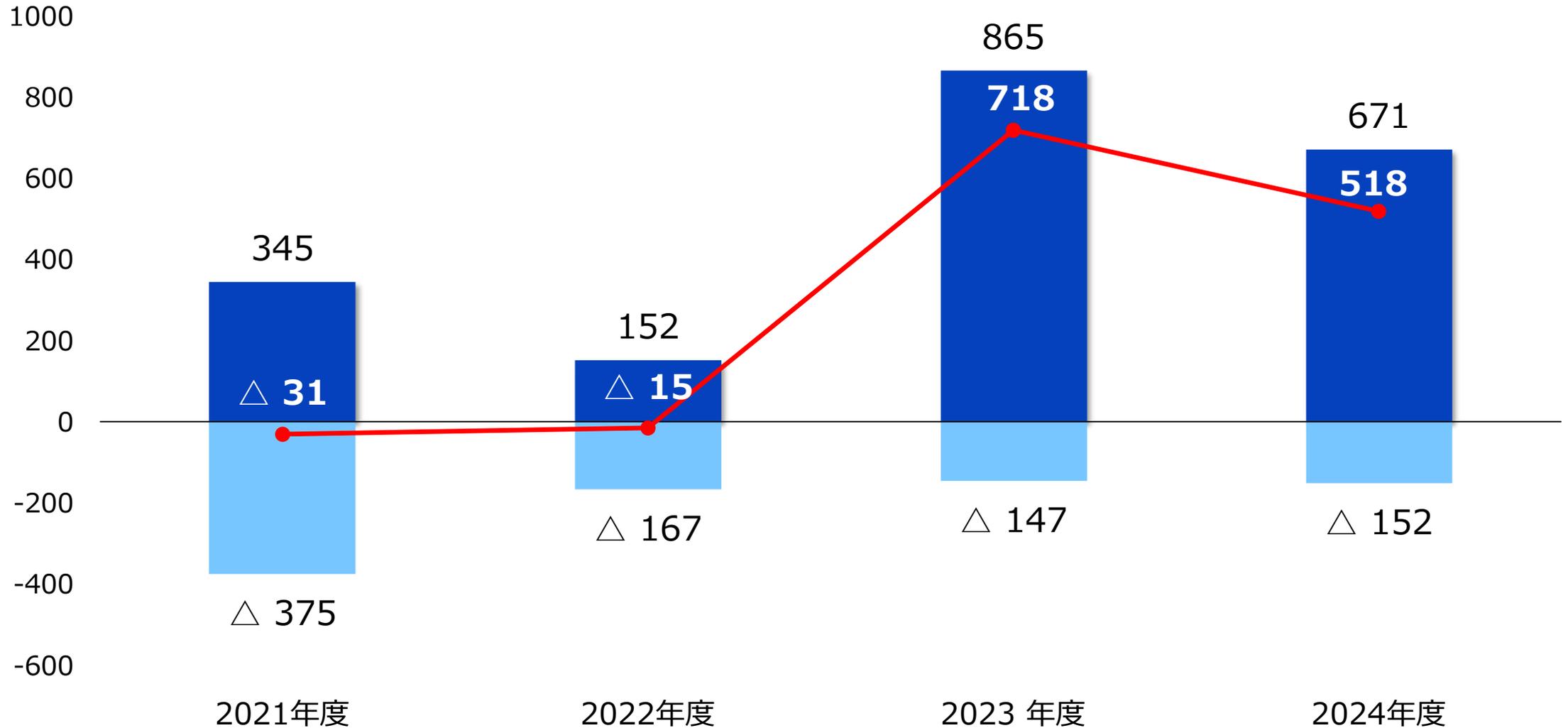


(億円)

■ 営業活動によるキャッシュ・フロー

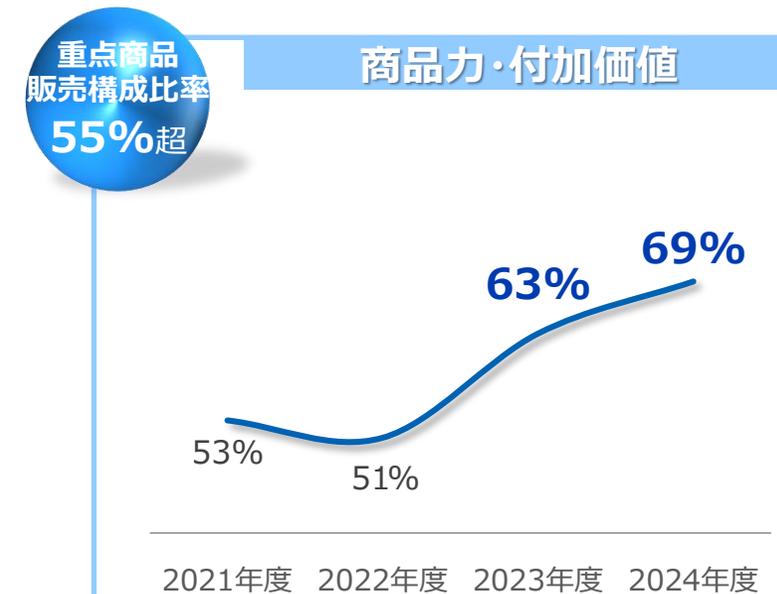
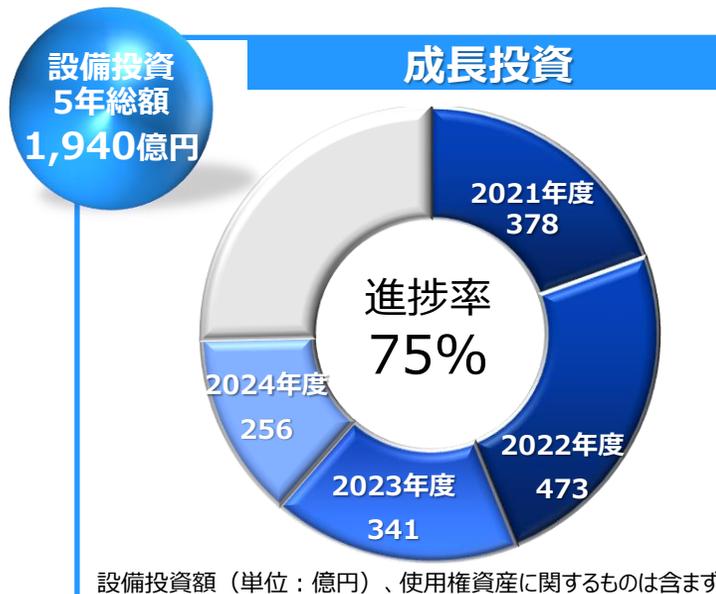
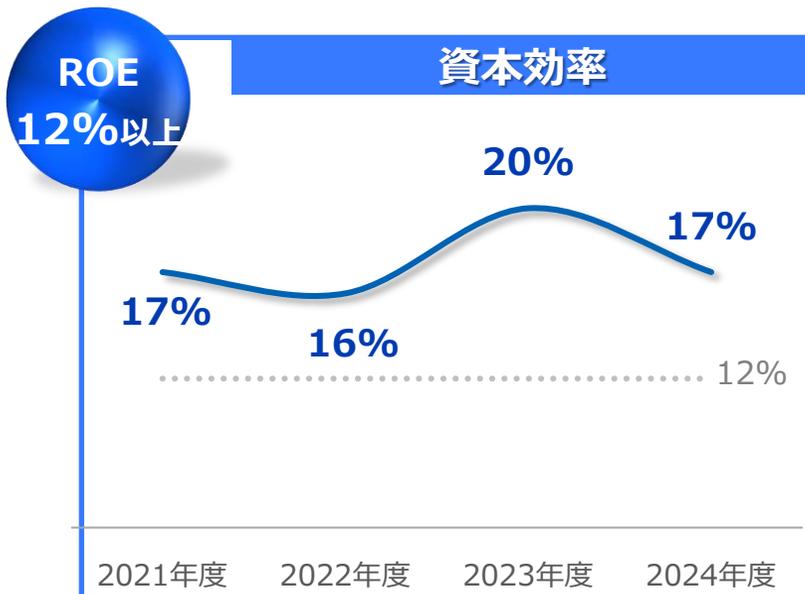
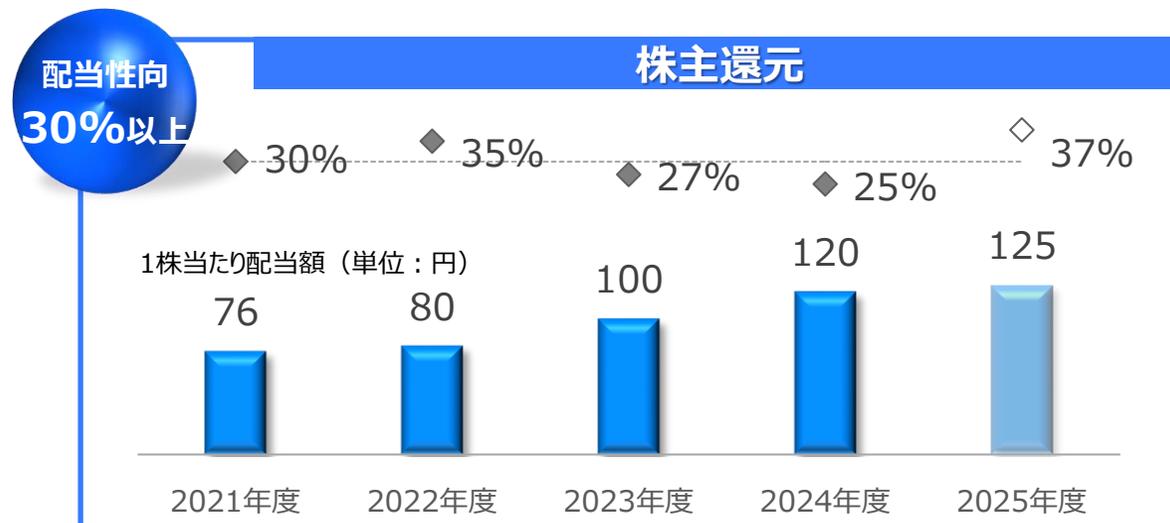
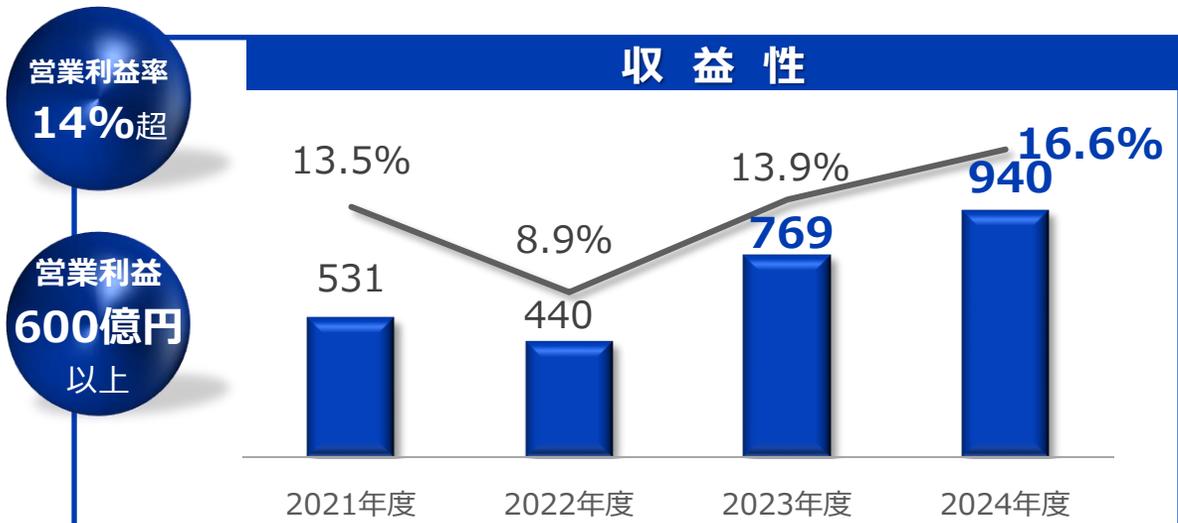
■ 投資活動によるキャッシュ・フロー

● フリー・キャッシュ・フロー



1. 2024年度 通期実績
2. 2025年度 通期業績予想
- 3. 経営施策 進捗状況**

設定した目標を達成、不断の改革により体制を更に強靱化



## 次期中期経営計画も見据え、計画の推進、改革の断行を継続

### 日本における高付加価値商品の販売を強化

- 商品ラインアップを絞り込み
- 70%を超える重点商品販売比率を実現



PROXES Comfort ILs

### 欧州市場における販売機能をセルビアに集約 商品ラインアップの絞り込みを推進

- ドイツ・オランダ・イタリア・イギリスの販売会社の事業活動を順次停止
- セルビアに設立した販売統括会社が欧州全域をカバー
- 機能を集積し、柔軟かつスピーディーに事業展開



欧州全域の販売をセルビアで統括

### 中国のタイヤ生産子会社の持分譲渡

【現状】  
主に中国国内・アジア向け  
商品を生産

【2025年6月（予定）～】

- 現地生産メリットを生かせない状況が継続していた中国のPCR/LTR生産子会社※の持分のうち86%を現地企業に譲渡（連結範囲から除外）  
※TOYO TIRE (ZHANGJIAGANG) CO.,LTD.
- 中国からアジア地域への供給は、日本・マレーシアからの供給に切り替え

- ◆ 経営資源の配分の最適化を推進、グローバルでの最適供給体制の構築を図る
- ◆ 北米市場をはじめとする更なる成長が期待できる市場における柔軟かつスピーディーな事業展開を引き続き志向

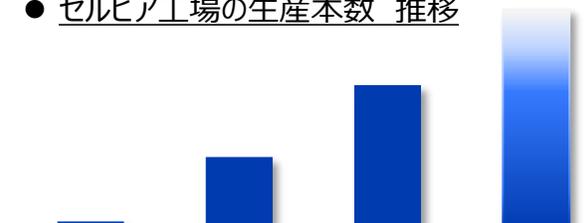
販売

生産

### セルビア工場をフル生産化 グローバルでの最適生産体制を構築



● セルビア工場の生産本数 推移



2022年度 2023年度 2024年度 2025年度

## 収益力の更なる向上・資本の最適化を継続推進

### 2024年度

#### 収益力向上

- セルビア工場 稼働率向上
- 日欧での商品ラインアップの高付加価値化



PROXES Sport 2



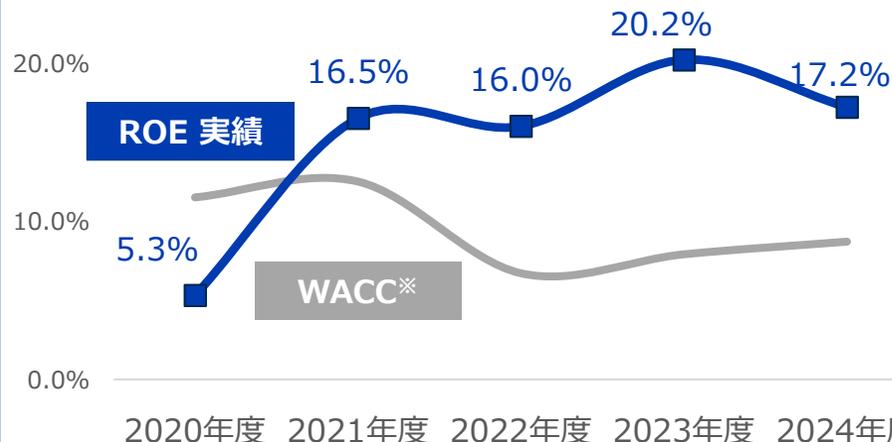
CELSIUS AS2

#### 資本最適化

- 投資有価証券の売却推進
- 配当性向に加え株主資本配当率も意識した還元政策

### ROE

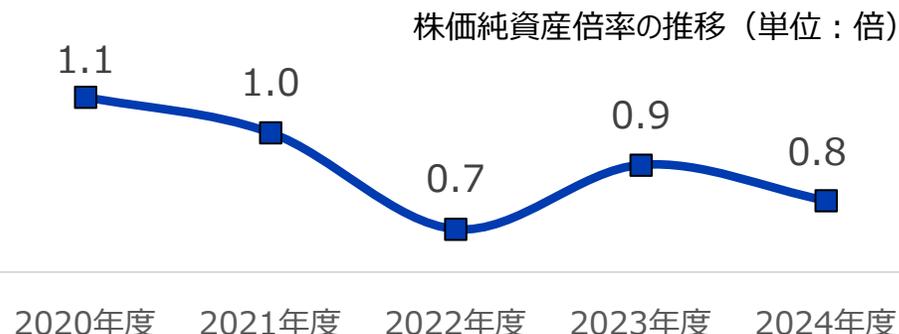
資本コストを上回る水準で推移



※WACC：株主資本コストと負債コストを加重平均した値

### PBR

株価が低調に推移、1倍を割った水準の継続



### 今後の対応

#### 中長期・安定的な成長をめざして

- 収益力の更なる向上策の実行
- 株主還元の充実に関する継続的な施策の推進
- 資本政策に関する対話の推進
- 企業価値向上に資する施策の適宜公表

次期中期経営計画の策定過程における議論を深化

## マテリアリティの主な取り組み状況

価値創出	持続可能なモビリティ社会	モビリティの環境負荷低減、安全・安心	<ul style="list-style-type: none"> <li>国内の商用EV向け商品の開発を推進。 小型EVトラック専用タイヤシリーズにスタッドレスタイヤ「<b>NANOENERGY M951 EV</b>」を追加。</li> <li>物流事業者向けソリューションのテストマーケティングを開始。 トラック・バスの車両運行管理を支援するアプリケーション「Tire SAPRI」を開発。</li> </ul>
	多様なモビリティライフ	走りの愉しみ	<ul style="list-style-type: none"> <li>サステナブル素材を採用した新しいラギッドトレーンタイヤを開発。 「<b>OPEN COUNTRY R/T TRAIL</b>」を2025年3月より国内市場で販売。</li> </ul>
価値創出を支える 基盤	多様な人財の挑戦と働きがい	人財育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>人的資本の可視化に向けて組織能力診断を実施。</li> <li>社員のリスキングを支援。</li> <li>階層別理念研修プログラムを更新。</li> </ul>
		ウェルビーイングな職場づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>従業員の健康管理強化に向けて健康経営アライアンスに参画。</li> </ul>
	次世代モビリティの技術革新	サステナブル素材使用比率向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>ISCC PLUS認証を仙台工場と福島ゴム（株）で取得。</li> <li>目標に対する進捗：28%※ ※2024年末時点の生産品における重量ベース</li> </ul>
リスクマネジメント 価値創出を守る	全企業活動における脱炭素の推進	GHG排出量の削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>ICPを本格運用。 Scope1の排出量削減を促進する設備更新等の投資判断に適用。</li> <li><b>SBT認定</b>を取得。</li> </ul>
	サプライチェーンのサステナビリティ	人権重要リスクへの対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>原材料サプライヤーに加え、製造委託先および物流事業者における人権対応状況を調査。（継続中）</li> </ul>

## 主なトピック

価値創出

### 環境負荷低減、安全・安心



NANOENERGY  
M951 EV

- 【2024年9月に国内で発売】
- EV専用パターンで冰雪上性能と耐摩耗性能を高次元で両立。
  - 環境性能（低電費）を向上。
  - サステナブル素材※を使用。  
※再生ビードワイヤー等

### 走りの愉しみ



OPEN COUNTRY R/T TRAIL

- 【2025年3月より国内で発売】
- オフロード性能とタフネスさ、デザイン性を兼ね備えたラギットテレーンタイヤ。
  - サステナブル素材※を使用。  
※再生ビードワイヤー等

価値創出を支える基盤

### サステナブル素材の商品応用を見据えた取り組み

- ダカールラリー2025参加車両にサステナブル素材使用比率50%超の「OPEN COUNTRY M/T-R※」を提供。 ※ダカールラリー2025用スペック



チームランドクルーザー・トヨタオートボデー参戦車両  
「ランドクルーザー300 GR SPORT」

- 「OPEN COUNTRY※」でサステナブル素材使用比率91%を実現。  
※TOKYO AUTO SALON 2025用スペック



価値創出を守る  
リスクマネジメント

### 2030年に向けた温室効果ガス排出削減目標がSBT認定を取得



DRIVING AMBITIOUS CORPORATE CLIMATE ACTION

Scope1, Scope2  
(当社の事業活動を通じた排出)

- ▶ 2030年までに総排出量を46.20%削減（2019年比）

Scope3 カテゴリー1  
(購入した製品・サービスにおける他社の排出)

- ▶ 2029年までにサプライヤーの89.00%（2019年比）が科学的根拠に基づく目標を設定

**TOYO TIRES**

**OPEN COUNTRY**



**ダカールラリー 2025  
市販車部門優勝**

***TOYO TIRES***

**80<sup>th</sup>**  
**ANNIVERSARY**

本資料に掲載されている業績予想や計画などの将来にわたる部分については、現時点で入手された情報に基づき判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。

従いまして、実際の業績は、さまざまな要因により、これらの業績予想とは異なることがありますことを十分にご認識の上、ご活用下さい。